

令和元年度

事業報告書

I 令和元年度事業実績概要

少子高齢化や人口減少が一段と進み、地域の相互扶助機能の低下などコミュニティの脆弱化が叫ばれている中で、社会的孤立や生活困窮者などを背景に地域における福祉課題が複雑化、深刻化し、複合的な課題を抱える世帯が地域の中で顕著になってきました。そこで国においては、地域共生社会の実現に向けた取り組みなど、住み慣れた地域で安心・安全な生活を、自分らしく暮らし続けていくための施策が進められています。

このような社会情勢や国の動向を踏まえ、長年地域福祉活動を推進してきた社協への期待や要請が一層大きくなり、これまで様々な地域課題解決の支援に取り組んできた社協もこれからの活動のあり方が問われております。

当会としては、「市民誰もが安心して暮らせる健康でぬくもりに満ちた福祉コミュニティの創造」の実現に向けて、7つの重点項目を掲げ、行政をはじめ、町内会、民生委員・児童委員、社会福祉団体などと連携を図り、地域福祉の向上に努めてまいりました。その結果、「地域力強化推進事業」については、地域住民自らが地域生活課題の発見や解決につなげる地域福祉協議会の設立を支援し、7町内会で設置されました。

また、新たに本年度は「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」にも取り組み、複合的な課題を抱える世帯に対し各関係機関・団体と連携した総合的な相談支援体制として11機関で構成する「相談支援包括推進会議」を設立し、地域福祉活動の基盤・強化を図りました。障がい者分野においては、肝属地域を対象範囲とする「肝属地区障がい者基幹相談支援センター事業」を全面的に鹿屋市から受託し、障がい者への相談体制を6人体制に強化し、障がい者福祉の向上を図りました。輝北地域においては、「輝北ふれあいセンター事業」と新規事業の「やすらぎの里づくり支援事業」を一体的に取り組み、輝北地域の活性化における交流拠点施設として、健康・生きがいつくりを努めました。そのほか、地域ニーズに応じた終活相談やドライブサロン事業の拡充、介護保険事業の運営など、多岐にわたる事業を展開し、地域に必要な福祉サービスの提供を強化いたしました。

《 重点項目 》

- 1 社会福祉協議会の事業・組織・財政の基盤強化
- 2 地域福祉活動の推進（地域力強化推進事業・多機関協働による包括的支援体制構築事業の推進）
- 3 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進
- 4 広報啓発活動等の充実
- 5 指定管理施設「市民交流センター福祉プラザ、輝北ふれあいセンター」の適正な管理運営
- 6 在宅福祉サービス事業の充実と効率的な運営
- 7 障がい者基幹相談支援センターの充実

II 事業実績報告

【 総務課所管 】

1 会務の運営並びに連絡・協調

(1) 本会の円滑な運営と事業の推進を図るため、次の役員会等を開催した。

① 理事会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 5月30日(木)	理事 12人 監事 2人 計 14人	【議案】 <ul style="list-style-type: none">・平成30年度事業報告・平成30年度会計収支決算・令和元年度会計補正予算(第1号)・次期理事候補者の推薦・次期監事候補者の推薦・評議員候補者の推薦・評議員選任・解任委員会委員の選任・評議員選任・解任委員会の招集・定時評議員会の招集 【報告】 <ul style="list-style-type: none">・平成30年度下半期における会長の職務執行状況
第2回 6月27日(木)	理事 12人 監事 3人 計 15人	【議案】 <ul style="list-style-type: none">・会長・副会長の選定・第三者委員の選考
第3回 3月18日(水)	理事 11人 監事 2人 計 13人	【議案】 <ul style="list-style-type: none">・令和元年度会計補正予算(第2号)・令和2年度事業計画・令和2年度会計収支予算・定款の一部改正・役員・評議員・委員の報酬等に関する規程の一部改正・事務局規程の一部改正・栗栖基金設置運営規程の一部改正・訪問介護事業所運営規程の一部改正・訪問入浴介護事業所運営規程及び鹿屋居宅介護支援事業所運営規程の一部改正・第三者委員の選考・第2回評議員会の招集 【報告】 <ul style="list-style-type: none">・令和元年度における会長の職務執行状況 【その他】 <ul style="list-style-type: none">・介護保険事業見直しの検討・新型コロナウイルス感染症対策に伴う職員勤務等の取り扱い・市監査報告

② 評議員会の開催 (2回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 (定時評議員会) 6月13日(木)	評議員 25人 監事 1人 計 26人	【議案】 ・平成30年度事業報告 ・平成30年度会計収支決算 ・令和元年度会計補正予算(第1号) ・次期理事の選任 ・次期監事の選任
第2回 3月26日(木)	評議員 20人	【議案】 ・令和元年度会計補正予算(第2号) ・令和2年度事業計画 ・令和2年度会計収支予算 ・定款の一部改正 ・役員・評議員・委員の報酬等に関する規程の一部改正 【その他】 ・介護保険事業見直しの検討 ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う職員勤務等の取り扱い

③ 正副会長会の開催 (2回)

開催日	出席者数	審議事項
第1回 5月20日(月)	3人	・第1回理事会及び定時評議員会上程議案
第2回 3月10日(火)	3人	・第3回理事会及び第2回評議員会上程議案

④ 監事会〈監事監査〉の開催 (1回)

開催日	出席者数	監査事項
5月16日(木)	3人	・平成30年度業務執行の状況及び会計収支決算等

⑤ 評議員選任・解任委員会の開催 (1回)

開催日	出席者数	審議事項
6月6日(木)	5人	・評議員(4人)の選任

(2) 適正かつ効率的な組織運営と事務事業の見直しに努めた。

① 定款・規程の適正な管理

ア 定款の改正 1回

イ 規程の改正 6規程

② 既存の事務事業の見直し

ア 事務事業検証作業の実施 [8月26日(月)~9月3日(火)]

③ 事業・組織・財務等の基盤強化

ア 発展・強化計画及び財政再建計画(5ヶ年計画)の進行管理

イ 発展・強化計画評価委員会の開催 [2月27日(木)]

ウ 新年度受託事業に係る収支予算に係るヒアリングの実施 [11月22日(金)・27日(水)]

エ 新年度事業計画及び収支予算に係るヒアリングの実施 [2月10日(月)・12日(水)]

④ 職員人事と処遇管理(適正且つ効果的な人員配置, 労務, 給与, 福利厚生, 辞令他)

⑤ 財務会計等の運営・管理

ア 適正な会計処理(予算, 決算, 経理事務等)

- イ 財産の適正な管理(基本財産, 固定資産物品, 基金等)
- ウ 内部会計監査の実施〔11月28日(木)〕
- ⑥ 個人情報(マイナンバー等)の適正な管理
- ⑦ 法人全体の庶務
- ⑧ 職員の健康管理
 - ア 衛生委員会の開催(12回)
 - イ 職員定期健康診断, 産業医による職場巡視及び健康指導の実施(10回)
 - ウ ストレスチェックの実施
- (3) 関係機関・団体等との連絡・協調に努めた。
 - ① 行政との連絡・協調
 - ア 市保健福祉部と社協との合同会議の開催〔5月31日(金)〕
 - ② 住民自治組織との連絡・協調
 - ③ 関係諸機関及び団体, 社会福祉法人等との連絡・協調
 - ④ 県社協, 九社連, 全社協との連携

2 会員制度の周知と加入促進

社協会員制度について, 社協だよりへの掲載や個別訪問等により市民への周知と加入促進に努めた。

- ・会費合計 6,873,010円(対前年度比:153,200円の増)

区分	会費額	加入者数	会費納入額
一般会員	1世帯 300円	19,383世帯	5,815,010円
団体会員	1口 3,000円	50団体(86口)	258,000円
特別会員	1口 10,000円	68会員(80口)	800,000円

3 広報活動等の推進

社協事業に対する市民の理解と関心を深めていただきながら, 福祉に関する様々な情報を提供するために, 次の広報活動等を実施した。

- (1) 社協だよりの発行による広報(4回)

号数	発行日	発行部数	備考
第44号	4月26日発行	42,000部	町内会全戸等に配布(A4, 12頁, カラー)
第45号	7月12日発行	42,000部	〃
第46号	10月28日発行	42,000部	〃
第47号	1月10日発行	42,000部	〃

- (2) 社協ホームページによる広報(随時)

掲載件数	97件	改正件数	7件	閲覧件数	26,400件
------	-----	------	----	------	---------

- (3) 社協活動紹介用パネル展示等による広報(2回)

展示日(期間)	展示場所(イベント内容)
10月19日(土)~10月25日(金)	リナシティかのや(鹿屋市ふれあい健康福祉まつり)
10月30日(水)~11月4日(月)	プラッセだいわ鹿屋店(ハートフルウィーク)

- (4) その他

吾平福祉ふれあい便りの発行(令和2年3月号, 吾平地域町内会2,554世帯に配布)

4 社会福祉功労者の表彰

鹿屋市ふれあい健康福祉まつり等で、社会福祉功労者の表彰を行った。

被表彰者	個人	2人	鹿屋市社会福祉協議会前会長，大口寄付者
	法人	2法人	社会福祉法人愛光会，社会福祉法人恵仁会
	団体	1団体	ボランティア団体（子育てサロンかのやっ子）

5 指定管理施設の適正な管理運営

高齢者や障がい者をはじめ，すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み，社会参加活動を行うと共に，誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設として，サービスの質の向上と運営の効率化に留意し，適切な運営管理に努めた。

(1) 鹿屋市市民交流センター福祉プラザの管理運営

① 利用実績等

利用件数	3,013件（対前年度比：36件の減）
利用者人数	34,545人（対前年度比：4,367人の減）
事故・苦情件数	事故件数：1件（体調不良による対応）
	苦情件数：3件（入浴関係2件，つどいの広場関係1件）

② 福祉プラザ利用団体の登録，連絡会の開催等

ア 福祉プラザ利用登録団体の登録（令和2年3月31日現在）

登録団体数	64団体〔内，新規登録団体数：4団体〕（対前年度比：1団体の減）
-------	----------------------------------

イ 福祉プラザ利用登録団体連絡会の開催

日時	令和2年2月26日（水）10:00～11:35
場所	リナシティかのや（2階）情報研修室
出席者数	26人（参加団体数：24団体）
内容	・福祉プラザの利用促進， ・福祉プラザ利用登録団体の活動内容等の紹介 ・福祉プラザ施設利用に伴う意見交換 等

ウ 福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査の実施

内容	福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査
方法	令和2年1月14日に，登録団体へ調査票を郵送
件数（調査）	66団体（令和2年1月13日現在の登録団体数）
件数（回答）	63団体（回答率 95%）
結果	・福祉プラザ利用登録団体の登録継続を希望する：60団体 ・福祉プラザ利用登録団体の登録抹消を希望する：3団体

③ 高齢者入浴サービス事業の実施

日時	毎週月曜日から金曜日まで（祝日，年末年始を除く）10:00～15:00
場所	リナシティかのや（2階）福祉プラザ内男女浴室
対象者	65歳以上の市民，又は高齢者クラブ加入者
日数	230日
延べ利用者数	3,878人（対前年度比：347人の減）
その他	看護師を配置して健康確認（血圧測定等）や相談，利用者の安全確認等

④ 福祉プラザ通信の発行及び配布

発行回数	12回（第135号～第146号）
発行内容	・社協関連事業（つどいの広場、総合相談、ファミリー・サポート・センター等）の案内 ・福祉プラザ利用団体登録の案内 ・高齢者入浴サービスの案内 等
発行部数	毎月約5,000部発行（町内会へ回覧、公共施設等へ配布）

(2) 【充実】鹿屋市輝北ふれあいセンターの管理運営

① 利用者数 25,363人（対前年度比：937人の減）

（利用者内訳）

区分	年間利用者数	区分	年間利用者数
社協関係	4,091人	温泉公衆浴場	16,437人
福祉団体	399人	やすらぎサロン	3,024人
福祉協力団体	202人	その他（一般）	553人
鹿屋市関係	657人	合計	25,363人

② 温泉入浴サービス事業の実施（温泉公衆浴場利用実績）

営業日数	253日（8月から9月までの期間はボイラー改修工事のため休業）					
営業時間	（4～10月）9:00～20:00,（11～3月）9:00～19:00					
実績	大人 （1回）	男	6,936人	大人 （1日）	男	40人
		女	9,024人		女	196人
	子供 （1回）	男	122人	合計	16,437人	
		女	119人		（対前年度比：3,553人の減）	

③ 【新規】輝北ふれあいセンター運営協議会の開催（2回）

日時	【第1回】令和元年10月21日（月）10:00～11:30
	【第2回】令和2年2月18日（火）10:00～11:30
場所	輝北ふれあいセンター 大会議室
協議内容	【第1回】運営協議会設置内容、センター事業内容と活性化等
	【第2回】センターの事業進捗状況と活性化策等
出席者数	【第1回】委員6人,【第2回】委員6人

④ 【新規】輝北ふれあいセンター杯グラウンドゴルフ大会の開催（2回）

日時	【第1回】令和元年12月9日（月）8:30～11:30
	【第2回】令和2年2月26日（水）8:30～11:30
場所	輝北ふれあいセンター 多目的広場
参加者数	【第1回】99人,【第2回】97人

⑤ 【新規】きほくやすらぎ食堂、きほくやすらぎ市場の開業

区分	きほくやすらぎ食堂	きほくやすらぎ市場
開業月	8月から開業（8・9月は試行,10月から本格開業）	
内容	食事（昼食）の提供	地元農産物等の販売
営業日数	31日（毎週1回）	76日（毎週3回）
利用者数	1,197人	1,225人
売上金	521,300円	663,557円
委託先	あじさい（輝北地域住民有志のグループ）	NPO法人 輝北キラキラ館

⑥ その他

- ア 子育てサロン「てるぽっく」に対する活動支援（12回）
- イ 高齢者サロンや福祉関係団体等への施設利用促進（随時）
- ウ **【新規】** 輝北ふれあいセンターだよりの発行（年3回、発行部数 約1,500部）
- エ **【拡充】** 輝北ふれあいセンター案内板の設置（うわば公園）
- オ **【新規】** きほくやすらぎ食堂、きほくやすらぎ市場に係るアンケートの実施（年2回）

6 役職員等の研修

役員等研修会、職員研修会の実施や県内外で開催された研修会等に参加し、職員の資質と専門性の向上に努めた。

- (1) 役員等研修会に参加 ※県社協・市主催の監事等研修

実施回数	2回	延べ出席者数	4人
------	----	--------	----

- (2) 職員研修会の実施

実施回数	2回	延べ出席者数	44人
------	----	--------	-----

- (3) 県社協等が主催する研修会等に参加

研修回数	87回	延べ参加人数	156人
------	-----	--------	------

- (4) その他

- ア 新任職員研修会の実施 4月8日(月)～4月12日(金)の5日間
- イ **【新規】** 職員会議の実施 1月16日(木)・2月13日(木)・3月18日(木)

7 福祉人材等の育成

社会福祉士や看護師等を目指す学生に、人材育成の一環として、次の実習の場を提供した。

学校名	人数	内容	実習期間
九州保健福祉大学社会福祉学部	1人	相談援助実習	8月5日～9月6日
鹿児島国際大学福祉社会学部	1人	相談援助実習	8月5日～9月6日
鹿屋看護専門学校(2年生)	24人	老年看護学実習	1月20日～2月26日

8 **【新規】** 地域における公益的な取り組みの実施

地域における公益的な活動の取り組みの一環として、特に市民から要望の高い3講座を社協独自で実施し、市民の健康増進に努めた。

- (1) つぼと健康講座

回数	5回
実施日時	【第1回】 令和元年10月15日(火) 13:50～15:20 【第2回】 令和元年10月30日(水) 13:50～15:20 【第3回】 令和元年11月6日(水) 13:50～15:20 【第4回】 令和元年11月13日(水) 13:50～15:20 【第5回】 令和元年11月20日(水) 13:50～15:20
場所	リナシティかのや(2階) ギャラリー
内容	東洋医学に関する「つぼと健康」をテーマに、誰にでもできる日常の健康法についての知識と技術を学ぶ
講師	泊平八郎氏(鹿児島鍼灸専門学校付属鍼灸治療院 院長)
延べ受講者数	225人(定員50人, 応募者数53人)

(2) シニア向け音楽療法講座

回数	5回
実施日時	【第1回】令和元年10月31日(木) 14:00~15:30 【第2回】令和元年11月7日(木) 14:00~15:30 【第3回】令和元年11月14日(木) 14:00~15:30 【第4回】令和元年11月22日(金) 14:00~15:30 【第5回】令和元年11月29日(金) 14:00~15:30
場所	リナシティかのや(2階) リハーサル室
内容	和気あいあいと、脳も体も心も喜ぶような音楽を楽しむ
講師	坂中 慈子 氏 (日本音楽療法学会認定 音楽療法士)
延べ受講者数	191人 (定員40人, 応募者数82人)

(3) ウォーキング・貯筋運動講座

回数	5回 (ウォーキング3回・貯筋運動2回)
実施日時	【第1回】令和元年10月29日(火) 10:00~11:30 【第2回】令和元年11月5日(火) 10:00~11:30 【第3回】令和元年11月12日(火) 10:00~11:30 【第4回】令和元年11月19日(火) 10:00~11:30 【第5回】令和元年11月27日(水) 10:00~11:30
場所	リナシティかのや(2階) 情報研修室 他
内容	ウォーキングと貯筋運動に必要な基礎知識の習得と実習
講師	北村 尚浩 氏 (鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系 教授) (第1回~第3回) 柳沼 悠 氏 (鹿屋体育大学 生涯スポーツ実践センター 特任助教) (第4回・第5回)
延べ受講者数	121人 (定員50人, 応募者数33人)

9 その他

- (1) 鹿屋市民生委員児童委員協議会の事務局業務として、次の業務を行った。
 - ア 総会(1回), 役員会(12回), 会長会(12回), 監事監査(1回)の開催
 - イ 各種研修会(4回), 地域交流会(1回)の実施
 - ウ 会計, 庶務等
- (2) 【新規】市内の葬儀事業者(15ヶ所)を訪問し、香典返し寄附金の使途説明とともに、協力依頼を行った。
- (3) 【新規】働き方改革に伴い関連法令が順次施行されていることに伴い、令和2年1月から社会保険労務士事務所と労務管理等に係る業務委託契約を締結した。
- (4) 【新規】厳しい財政状況を踏まえ、電力調達コスト削減を図るため、電力入札の実施について協議検討を行った。

【 地域福祉課所管 】

1 地域福祉活動の推進

(1) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業

① 地域力強化推進事業

2名の地域福祉コーディネーターを配置し、すべての人々が共に助け合い、生きがいをもって暮らし、地域を作っていく「地域共生社会」の実現を目指して、以下の活動に取り組んだ。

ア 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる環境整備

①【新規】「地域福祉協議会」の整備

町内会を区域とし、住民が主体的に地域課題を把握し、解決活動を試みる事が出来るための協議の場として「地域福祉協議会」の設立を支援し、地域課題を話し合う定例会等の開催を支援した。

	設立した地区	設立日	取り組み内容
1	高 牧	平成31年4月1日	地域福祉協議会定例会 ・5月22日・12月11日 支えあいマップ作成・振り返り ・9月11日・9月25日 救急医療情報キット説明・配布 ・令和2年3月29日
2	鶴 羽	平成31年4月1日	地域福祉協議会定例会 ・9月5日・令和2年2月5日
3	古前城	令和元年6月1日	地域福祉協議会定例会 ・7月25日・令和2年1月25日
4	海 道	令和元年7月1日	地域福祉協議会定例会 ・8月12日
5	花 里	令和元年7月1日	地域福祉協議会定例会 ・11月13日・令和2年2月15日
6	小 薄	令和元年8月1日	地域福祉協議会定例会 ・8月19日・10月29日・11月12日
7	寿8丁目	令和元年10月18日	地域福祉協議会定例会 ・10月18日・令和2年2月14日

②【新規】地域住民等に対する研修の実施

地域共生社会の実現に向けた地域づくりを目指し、地域活動の事例をテーマとした研修会『みんなで支えあう地域づくりセミナー「うちよかならんから始まる住民活動」』を開催した。

研修名	日 時	場 所	参加者数
みんなで支えあう 地域づくりセミナー	令和2年2月26日(水) 13:30~15:30	鹿屋市中央公民館	77人

〈研修内容〉

- ・ 研修『身近な地域と人が織りなす、小地域ネットワーク活動』
講師 日置市伊集院町平古自治会 民生委員 倉崎 浩二 氏
- ・ グループワーク『研修を通して自分たちでできる事』

③ 支えあいマップ作成の支援

支えあいマップ作りを通して、住民自身が地域の課題を共有し、解決を図るための取り組みを実施した。

地域	日時	場所	参加者数
白崎町	令和元年7月9日(火) 10:00～	白崎町公民館	15人
高牧町	令和元年9月11日(水) 10:30～	高牧町公民館	5人
小薄町	令和元年11月12日(火) 18:30～	小薄町公民館	6人

④【新規】第4回九州ブロック研修会 IN 鹿屋市の開催

「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業」に取り組む九州内の自治体及び社協関係者等を対象に、標記研修会を開催した。

研修名	日時	場所	参加者数
第4回九州ブロック研修会 IN 鹿屋市	令和2年1月30日(木) 13:00～17:00	鹿屋市役所7階 大会議室	77人

〈研修内容〉

- ・ 研修『厚生労働省からの行政説明』
講師 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域福祉専門官 玉置 隼人 氏
- ・ 事例発表『地域共生社会の実現に向けた取組報告』
地域力強化推進事業・・・都城市社会福祉協議会
多機関協働事業・・・・・・長崎市
- ・ グループワーク『地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業から見てきたもの』

②【新規】多機関の協働による包括的支援体制構築事業

1つの機関では対応できない複合的な課題がある世帯に対し、高齢・障害・児童等の各分野が包括的に支援する体制の構築を推進した。また、支援過程で課題となるものについて協議し解決を図った。

ア 相談支援包括化推進員の配置

相談支援包括化推進員を1名配置し、複合的な課題を持つ世帯に適切な支援機関をコーディネートし、分野横断的な支援を実施した。

イ 複合的課題を抱える相談者の支援

相談件数 65件

(内訳) [国の分類]

類型	単身	高齢者のみ	母子・父子	高齢者と独身の子	3世代同居	その他
件数	24	7	11	13	2	8

※その他8件の主な内訳(4世代同居、障害者が複数同居、若年困窮夫婦と乳幼児等)

ウ 相談支援包括化推進会議の開催

令和元年8月から社協を含む11機関の実務者で構成する会を月1回開催し、包括的な相談支援体制の構築を図った。

- ① 開催回数 7回(3月は中止)
- ② 構成機関(11機関)
 - ・ 児童家庭支援センターつながり(社会福祉法人 林愛会)
 - ・ 鹿屋市基幹型地域包括支援センター(公益社団法人 鹿屋市医師会)

- ・ 鹿屋市民生委員児童委員協議会
- ・ 肝属地区障がい者基幹相談支援センター
- ・ 鹿屋市福祉政策課
- ・ 鹿屋市健康増進課
- ・ 鹿屋市子育て支援課
- ・ 鹿屋市学校教育課
- ・ 生活困窮者自立相談支援機関（鹿屋市）
- ・ 法テラス鹿屋
- ・ 鹿屋市社会福祉協議会

③ 主な検討事項

複合的課題を抱える世帯（3件）の支援策について継続的に検討した。

④ 担当者会（個別事例会議）の開催

複合的課題を抱える世帯について、多機関の支援者による個別事例会議を開催した。

- ・ 8回（6世帯）

Ⅱ 相談支援包括化ネットワークの構築

世帯全体の支援、相談支援包括化推進会議を通じて高齢・障害・児童分野の支援機関と連携を図り、実務的なネットワークの構築に努めた。また、次の多機関で構成される会への参加を通じて連携機関の拡大を行った。

- ・ 青少年問題協議会実務者会（年6回）
- ・ 鹿屋市要保護児童対策地域協議会実務者会（年4回）
- ・ 鹿屋市地域包括支援センター職員研修会（年1回）
- ・ 肝属・曾於地区自殺対策ネットワーク会議（年1回）

(2) ふれあいネットワークづくり事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の中で取り込まれている見守り活動について、継続的に活動されるよう支援を行った。

① 高齢者等の見守り隊に対する支援を実施

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
見守り隊	総数	22	5	4	4	35
	既存の見守り隊の例会を通じた支援回数	24	1	5	5	35

② 近隣福祉ネットワーク活動の支援

地域の支えあい活動に関する会議を開催し、地域住民へ小地域福祉活動の普及促進を図った。

会議名	日 時	場 所	参加者数
近隣福祉ネットワーク会議	令和元年 7月 9日(火) 10:00～12:00	輝北ふれあいセンター	62人
平南校区福祉ネットワーク会議	令和2年 2月 12日(水) 19:00～20:30	平南校区公民館	20人
百引校区福祉ネットワーク会議	令和2年 2月 14日(金) 19:00～20:30	百引校区公民館	30人

市成校区福祉ネットワーク会議	令和2年2月17日(月) 19:00～20:30	市成校区公民館	20人
高尾校区福祉ネットワーク会議	令和2年2月19日(水) 19:00～20:30	高尾校区公民館	26人

③ ふれあいネットワーク連絡会の開催

連絡会名	日時	場所	参加者数
ふれあいネットワーク連絡会	令和元年9月27日(金) 10:00～12:00	リナシティかのや	32人

〈研修内容〉

- ・認知症疾患医療センターについて
講師:メンタルホスピタル鹿屋 精神保健福祉士 新西 真理恵 氏
- ・多機関協働による包括的支援体制構築事業について
グループワーク「活動を継続されるために工夫していること」

(3) ふれあい・いきいきサロン事業

生きがいづくりや仲間づくりにつながる「ふれあい・いきいきサロン」が更に活発化するよう活動の支援を行うとともに、活動時に作製した作品の展示や研究集会の参加支援を通して継続的な取り組みを促した。

① 研究集会を通じて、ふれあい・いきいきサロン活動の推進に努めた。

研修名	日時	場所	参加者数
サロン合同研究集会 in かがしまへの参加支援	令和2年2月18日(火) 13:00～16:00	かごしま県民交流センター	16人

② サロン展を開催して市民に対しサロン活動の普及啓発を行い、サロン活動者の参加意欲の増進を図った。

サロン展名	日時	場所
ふれあい・いきいきサロン展の開催	令和元年10月19日(土) 9:00～15:00	リナシティかのや ギャラリー

③ ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ支援、既存サロンへの支援を実施

区分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
高齢者サロン (ヶ所)	新規立上げ	4	1	0	0	5
	総数	86	15	25	19	145 (対前年度比:5ヶ所の増)
子育てサロン	総数	1	0	1	1	3
高齢者サロンへの参加支援回数		37	22	31	21	111
子育てサロンへの参加支援回数		9	0	9	7	25

④ サロン助成金を通じた支援(高齢者サロン等加入促進事業)

サロングループ等で新規加入した人数に応じて助成金を交付し、活動の推進を図った。

交付対象サロン数	119グループ (対前年度比:28グループの増)
助成金額合計	2,296,000円 (対前年度比:300,000円の増)

⑤ レクリエーション用具の貸出

サロン等へレクリエーション用具の貸し出しを行った。

- ・ 貸出件数 49件 (101回)

サロン用具名	貸出回数	合 計
輪投げ	36回	101回
スカットボール	27回	
ストライクボード	10回	
その他	28回	

(4) 【拡充】ドライブサロン事業の実施

7法人の経営する8つの施設で実施。自ら交通手段を有しない高齢者等に対し、週1回法人のマイクロバス等を運行して、生鮮食料品等の買い物支援を行う「生活支援型」と月2回程度、法人のマイクロバス等を運行して、市内外の名所・観光地への遠足と買い物を組み合わせた「生きがいつくり型」の2種類のドライブサロン事業を実施した。

なお、令和2年3月2日より、新型コロナウイルス感染症の影響から、ドライブサロン事業を中止し、利用者の安全に配慮した。

① 生活支援型ドライブサロン

実施回数	263回 (対前年度比：31回の減)
登録者数	93人 (対前年度比：5人の減)
年間利用者数(延)	2,166人 (対前年度比：290人の減)

(各地区の内訳表)

地 区 名	花岡地区	高隈地区
町 内 会	有武・小薄・高牧	重田・柏木
協 力 法 人	社会福祉法人 愛光会 桜町学園	社会福祉法人 恵仁会 鹿屋長寿園
開 始 日	平成27年4月2日	平成27年10月7日
実 施 日	毎週木曜日 13:00	毎週水曜日 13:00
買 い 物 先	ニシムタ鹿屋店, スーパーかくち	ニシムタ鹿屋店
実 施 回 数	46回	46回
登 録 者 数	23人	18人
年 間 利 用 者 数	平均13人, 延べ583人	平均10人, 延べ470人
地 区 名	大始良地区	串良地区
町 内 会	獅子目	富ヶ尾中央
協 力 法 人	社会福祉法人 永生会 慈恵園	社会福祉法人 以和貴会 以和貴苑
開 始 日	平成29年8月29日	平成29年3月7日
実 施 日	毎週火曜日 10:00～	毎週火曜日 10:30～
買 い 物 先	A コープ大始良店	タイヨー串良店, T ショップやまぐち
実 施 回 数	45回	45回
登 録 者 数	8人	13人
年 間 利 用 者 数	平均6人, 延べ263人	平均6人, 延べ292人

地区名	花里地区	飯隈・南地区
町内会	花里	飯隈・南
協力法人	社会福祉法人 鹿屋恵友会 花岡の里	社会福祉法人 永生会 慈恵園
開始日	平成29年8月4日	平成29年8月29日
実施日	毎週火曜 9:30～	毎週火曜日 10:00～
買い物先	ニシタ鹿屋店 スーパーかくち	A コープ大始良店
実施回数	35回	46回
登録者数	13人	18人
年間利用者数	平均3人, 延べ116人	平均10人, 延べ442人

② 生きがいきづくり型ドライブサロン

実施回数	16回 (対前年度比: 9回の増)
登録者数	770人 (対前年度比: 420人の増)
年間利用者数(延)	249人 (対前年度比: 101人の増)

(各地区の内訳表)

地区名	吾平地区	【新規】串良地区
法人名	社会福祉法人岳風会 陵北荘	社会福祉法人友心会 ゆらり
開始日	平成30年10月9日	令和元年10月9日
実施日	月2回	月2回
行先	市内外の名所, スーパー	市内外の名所, スーパー
登録者数	吾平町内のサロン参加者 約412人	串良町内のサロン参加者 約358人
利用者数	136人	113人(令和元年10月～令和2年3月末)
実施回数	10回	6回(令和元年10月～令和2年3月末)

③ 視察受け入れ

ドライブサロン事業について、県内外からの視察受け入れを行った。

	月日	視察先	視察人数
1	6月27日	行橋市社会福祉法人連絡会	10人
2	7月16日	都城市小松原地区社会福祉協議会	13人
3	8月21日	由布市社会福祉法人施設経営者協議会	4人
4	9月20日	天草市社会福祉協議会	6人
5	10月23日	熊本県長洲町民生委員児童委員協議会	25人
6	10月31日	大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会	4人
7	11月20日	宇城市松橋地区嘱託員	22人
8	2月4日	南島原市社会福祉協議会	2人
9	2月5日	宮崎県(五ヶ瀬町, 日之影町, 高千穂町)	14人

④ ドライブサロン事業が九州厚生局地域包括ケア大賞(優秀賞)を受賞

令和元年8月30日、福岡県春日市(クローバープラザ)において、九州厚生局主催による九州・沖縄地域包括ケア推進フォーラムが開催され、その中でドライブサロン事業が、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の実情に応じ優れた取り組みを行っているとして評価をいただき、「九州厚生局地域包括ケア大賞 優秀賞」を受賞した。

2 生活支援・介護予防体制の充実・強化

(1)【新規】鹿屋市やすらぎの里づくり支援事業

鹿屋市輝北ふれあいセンターを拠点施設に様々な取り組みや活動を展開することにより、生きがいつくりや健康維持，生活の質の向上に努めた。

① 各種講習会等の実施

ア 子育て関連講座

実施回数	5回
日時	【第1回】令和元年8月27日(火) 10:00～11:30 【第2回】令和元年9月10日(火) 13:30～15:00 【第3回】令和元年9月25日(水) 10:00～11:30 【第4回】令和元年10月15日(火) 10:00～11:30 【第5回】令和元年10月29日(火) 10:00～11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室/和室)
内容 (講師名)	【第1回】「子育て世代の元気会議*子どもの育ちに大切なこと！」 (合同会社 Just a Little 代表 宇津野 なり子 氏) 【第2回】「食物アレルギー講座」 (まつだこどもクリニック 院長 松田 幸久 氏) 【第3回】「ママたちのリフレッシュレクリエーション」 (健康運動指導士 川尻 彰 氏) 【第4回】「タイルアートで作る家族のフォトフレーム」 (KOBITO'S ART SHOP 代表 瀬戸口 博子 氏) 【第5回】「子育てに活かす音楽の力」 (音楽療法士 坂中 慈子 氏)
延受講者数	103人

イ 子ども料理教室

実施回数	2回
日時	【第1回】令和元年8月13日(火) 10:00～13:00 【第2回】令和元年12月25日(水) 10:00～13:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(調理実習室)
内容	第1回「自分で作る楽しいランチ」 第2回「自分で作るクリスマスケーキ」
講師	鹿屋市食生活改善推進員 脇田 るみ子 氏 他 2名
受講者数	20人

ウ 野菜・花づくり教室

実施回数	2回
日時	【第1回】令和元年10月17日(木) 10:00～11:00 【第2回】令和元年11月27日(水) 10:00～11:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(和室)
内容	野菜・花づくりの基礎知識 他
講師	霧島ヶ丘公園管理 所長 瀬貫 浩昭 氏
受講者数	40人

エ 幼児歯科検診

実施回数	2回
日時	【第1回】令和元年7月11日(木) 13:00~14:00 【第2回】令和元年7月18日(木) 13:00~14:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室)
内容	幼児(就学前児童) 歯科検診及び個別相談
講師	きらら歯科クリニック院長 吉見 博敏 氏(歯科衛生士1名)
受講者数	5人

オ 高齢者介護予防歯科検診

実施回数	4回
日時	【第1回】令和元年7月11日(木) 13:00~14:00 【第2回】令和元年7月22日(月) 13:00~14:00 【第3回】令和元年8月7日(水) 13:00~14:00 【第4回】令和元年8月23日(金) 13:00~14:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室/和室)
内容	【第1~4回】歯科検診及び講話(口腔ケアについて)
講師名	きらら歯科クリニック院長 吉見 博敏 氏(歯科衛生士1名)
延受講者数	70人

カ ふれあいレクリエーション

実施回数	8回
日時	【第1回】令和元年8月9日(金) 13:30~14:30 【第2回】令和元年9月11日(水) 13:30~14:30 【第3回】令和元年9月13日(金) 13:30~14:30 【第4回】令和元年9月18日(水) 10:30~11:30 【第5回】令和2年1月29日(水) 10:30~11:30 【第6回】令和2年2月6日(木) 13:30~14:30 【第7回】令和2年2月10日(月) 13:30~14:30 【第8回】令和2年2月14日(金) 10:30~11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(機能訓練室/和室)
内容	【第1~8回】介護予防体操レクリエーション
講師名	鹿屋市レクリエーション協会 介護福祉士 松園 タミ子 氏
延受講者数	69人

キ 夏休み植物採集標本作成教室

実施回数	1回
日時	令和元年8月2日(金) 10:00~15:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター 会議室/採集場所(登見の丘公園)
内容	専門講師による, 植物採集標本の作成方法 他
講師	鹿児島植物同好会 代表 立久井 昭雄 氏
延受講者数	21人

ク 高齢男性のための料理教室

回数	4回
実施日時	【第1回】令和元年11月8日(金) 10:00~13:30 【第2回】令和元年11月14日(木) 10:00~13:30 【第3回】令和元年11月18日(月) 10:00~13:30 【第4回】令和元年11月28日(木) 10:00~13:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(調理実習室/和室)
内容	【第1~4回】非常食(通常食での利用可)の栄養,調理指導全般
講師名	鹿屋市食生活改善推進員 脇田 るみ子 氏 他 5名
延受講者数	28人

ケ 生活習慣病予防のための食生活講演会

回数	1回
実施日時	令和元年12月18日(水) 10:30~11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(和室)
内容	生活習慣病予防のための食生活について
講師名	公益社団法人 鹿児島県消化器がん検診推進機構 会長 草野 健 氏
延受講者数	41人

コ 高齢者安心安全入浴講習会

回数	3回
実施日時	【第1回】令和2年1月8日(水) 13:30~15:00 【第2回】令和2年1月15日(水) 13:30~15:00 【第3回】令和2年1月22日(水) 13:30~15:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(和室)
内容	【第1回】温泉の基礎知識 【第2回】温泉の正しい入浴法について 【第3回】鹿児島の温泉はおもしろい~歴史と湯ネスコ的温泉話~
講師名	【第1,2回】温泉ソムリエ協会 師範 六三四 氏 【第3回】かごしま探検の会 代表理事 東川 隆太郎 氏
延受講者数	134人

サ 趣味講座

回数	5回
実施日時	【第1回】令和2年2月17日(月) 14:00~15:00 【第2回】令和2年2月19日(水) 14:00~15:00 【第3回】令和2年2月20日(木) 14:00~15:00 【第4回】令和2年2月21日(金) 14:00~15:00 【第5回】令和2年3月2日(月) 14:00~15:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(機能訓練室/和室)
内容	【第1回~第4回】あやとり/かるた講座 【第5回】脳トレ講座
講師名	輝北支所の職員で対応
延受講者数	99人

② 鹿屋市通所付添サポート事業の実施

鹿屋市輝北ふれあいセンターに自力で参加が難しい高齢者等に対し、サポーター登録を行い既定の講習を受けたサポーターが送迎を行うことで、高齢者等の社会参加と介護予防等を推進する。

登録者数	20人
延べ利用者数	300人
実施日数	123日
付添サポーター数	10人

③ 鹿屋市やすらぎサロン事業の実施

高齢者が身近な地域に集い、介護予防又は認知症予防及び人と人が支え合う地域づくりを目指すため、サロン活動の実施に努めた。

登録者数	92人
延べ利用者数	2,296人 (1日平均13人)
実施日数	173日

3【拡充】総合相談事業（心配ごと相談事業）の実施

市民の様々な生活上の問題について、広く専門的な相談に応じ福祉ニーズを把握し、専門機関への橋渡しや福祉サービス等の情報を提供し問題解決への適切な支援に努めた。

また、今年度から新規で終活相談を開設した。

(1) 相談種別相談件数等

・総相談件数 377件 (対前年度比：65件の減)

相談種別	相談内容	相談日・時間	相談員	開設日数	相談件数
一般相談	心配ごと・ 悩みごと	月曜日～金曜日 9:00～12:00	心配ごと 相談員	243日	177件 (△97件)
法律相談	権利・相続 ・借地等	第2金曜日 13:00～16:00	弁護士	12日	68件 (△3件)
税務・経営相談	相続税・ 贈与税等	第1金曜日 9:00～12:00	税理士	11日	20件 (12件)
財産・登記相談	相続・財産 ・登記等	第2・3・4金曜日 9:00～12:00	司法書士	35日	101件 (12件)
【新規】終活相談	墓じまい・ 遺言等	第4木曜日 9:00～12:00	社会福祉士 (社協職員)	12日	11件
合 計					377件

(2) 相談員の研修会の実施

① 各種相談員研修会（県社協主催）

日時・場所	令和元年12月5日(木) 10:00～14:30 かがしま県民交流センター
内 容	・シルバー110番の相談状況及び相談対応について ・身近な法律問題について ・高齢者の消費者トラブルについて
参加者	心配ごと相談員4人

② 心配ごと相談所相談員会の開催

日時・場所	令和2年2月28日(金) 10:00～14:30 リナシティかのや福祉プラザ
内容	<ul style="list-style-type: none"> 鹿屋市における消費生活に関する相談事例と対応について 講師：鹿屋市消費生活支援センター次長 花田 直幸 氏 心配ごと相談所の今年度実績について 心配ごと相談の実務に関する意見交換
参加者	心配ごと相談員4人

(3) 相談事業の周知広報 ※社協ホームページに常時掲載

平成31年4月	社協だより(第44号)
令和元年5月	福祉プラザ通信(第136号)
令和元年7月	社協だより(第45号)
令和元年10月	社協だより(第46号)
令和元年12月	福祉プラザ通信(第143号)
令和2年1月	社協だより(第47号)

4 福祉教育やボランティア活動の推進

福祉教育の実践や高齢者、障がい者の方々とふれあう機会の充実など、市民の「福祉の心」の醸成を図るとともに、地域福祉を支えるボランティア活動の充実や福祉イベントを通じて福祉意識の向上を図るなど、ノーマライゼーションの実現に努めた。

(1) ボランティアセンター事業

① 福祉教育の推進

ア 福祉イベントの開催(鹿屋市ふれあい健康福祉まつり)

(鹿屋市保健福祉フェスタ, 鹿屋市ふれあいレクリエーション, 鹿屋市健康まつり, ボランティアフェスティバルを統合)

日 時	令和元年10月19日(土) 9:00～15:00
場 所	リナシティかのや (1階, 2階, 3階)
参加者数	延べ 3,764人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 鹿屋市保健福祉フェスタ 表彰式典・福祉講演会 (3階ホール)
	<ul style="list-style-type: none"> 鹿屋市ふれあいレクリエーション ウェルネス吹き矢 (3階フィットネスホール)
	<ul style="list-style-type: none"> 鹿屋市健康まつり 健康度測定, 健康づくり講座等 (3階フィットネスホール)
	<p>③第7回かのやボランティアフェスティバル</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア体験, チャリティバザー, リサイクルコーナー, 民生委員児童委員及び地域包括支援センター活動紹介, 警察・ 自衛隊・消防車両の展示及び制服着用体験, ボランティア協力 校による体験コーナーや障害者福祉施設物品販売等

イ 福祉ボランティア作文コンクールの実施等

① 福祉ボランティア作文コンクールの実施

対象者	小学生・中学生・高校生
応募数	68点 [内訳] 小学校 14点, 中学校 13点, 高等学校 41点
審査結果	最優秀賞 4点, 優秀賞 4点
その他	最優秀賞受賞者 2名は鹿屋市ふれあい健康福祉まつりで表彰と発表

② ボランティア活動感想文集の作成と配布

福祉作文コンクールの作文, サマーボランティア体験学習やわくわくボランティア体験学習参加者の感想文をボランティア活動感想文集として作成

作成部数	250部
配布先	市内 42校, 作文感想文提出者, ボランティア体験施設等

ウ ボランティア活動推進校における福祉教育の支援

① 本会指定によるボランティア活動推進校の指定

小学校 21校, 中学校 9校, 高等学校 5校の計 35校 (対前年度比: 1校の増)

② ボランティア活動推進校連絡会の開催

日時	令和元年 7月 11日(金) 14:30~16:30
場所	リナシティかのや 2階 情報研修室
対象者	ボランティア活動推進校の担当教諭等
出席者数	24人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童・生徒のふれあいボランティア活動」の取組みについて (説明: 社協職員) ・認知症サポーター養成講座 (講師: 医療法人徳洲会大隅鹿屋病院 作業療法士 奥山 貴幸 氏)

エ 福祉体験出前講座の実施

回数内訳	13回 (小学校 2回 [2校/延べ 93人], 中学校 7回 [5校/延べ 436人] 高校 2回 [1校/延べ 198人], 一般 2回 [2件/延べ 40人])
受講者数	767人
実施先	西原小, 西俣小, 田崎中(3回実施), 高隈中, 上小原中, 吾平中 串良中, 鹿屋工業高校(2回実施), 輝北小家庭教育学級, 鹿屋っ子クラブ

オ 福祉体験教材等の貸出

高齢者疑似体験セットの貸出	9件: 113セット
車イスの貸出	教材 10件: 108台 窓口貸出 108件: 138台
ボランティア手帳の配付	11件: 1,020冊
白杖・アイマスクセット貸出	10件: 121セット

カ 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の実施

- ・ボランティア活動認定証 (30回達成) 発行 1人 (吾平小)

② ボランティアの育成

ア 小学校高学年を対象としたボランティア体験学習の開催

- ・わくわくボランティア体験学習の開催

日 時	令和元年 7 月 24 日(水) 9:30～15:00
場 所	リナシティかのや 2 階 団体活動室及び調理室
対 象 者	小学校 4・5・6 年生の児童
参加者数	19 人
内 容	ボランティア活動及び非常炊出し体験, 手話体験, 要約筆記用器具作成等

イ 中学・高校生を対象としたボランティア体験学習の開催

- ・サマーボランティア体験学習の開催

【事前学習】

日 時	令和元年 7 月 29 日(月) 10:00～11:30
場 所	リナシティかのや 2 階 情報研修室
参加者数	12 人 (内訳: 中学生 4 人・高校生 8 人)
内 容	講 話 「サマーボランティア体験学習の概要と心構えについて」 事務連絡 施設所在地確認, 集合時間, 当日持参品等の説明

【体験学習】

期 間	令和元年 7 月 30 日(火)～31 日(水) 日帰り 2 日間
場 所	市内特別養護老人ホーム 4 施設 (朋愛園, 悠々, 以和貴苑, 鹿屋長寿園), 社会福祉協議会
参加者数	12 人 (内訳: 中学生 4 人・高校生 8 人) ・朋愛園 3 人 (中学生 1 人・高校生 2 人) ・悠々 2 人 (中学生) ・以和貴苑 4 人 (中学生 1 人・高校生 3 人) ・鹿屋長寿園 1 人 (高校生) ・社会福祉協議会 2 人 (高校生)
内 容	施設入所者や利用者とのふれあい, 軽易な施設業務の体験等

ウ ボランティア養成講座の開催

- ・【新規】難病支援ボランティア養成講座の開催支援

主 催	鹿児島県難病相談・支援センター
日 時	令和 2 年 1 月 27 日(月) 13:00～16:00 令和 2 年 1 月 28 日(火) 10:00～15:30
場 所	鹿屋市社会福祉会館 1 階 大会議室
参加者数	15 人
内 容	【1 日目】 ・講話「難病対策と難病相談・支援センターの活動について」 (講師: 県難病相談・支援センター 副所長 小城 京子 氏) ・難病当事者による体験発表 (発表者: 網膜色素変性症患者, パーキンソン病患者) ・グループワーク 「自分のことを知ろう! 語り合おう!」

	<p>【2日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話「ボランティア活動と神経難病」 (講師：県難病相談・支援センター 所長 福永 秀敏 氏) ・講話「ボランティア活動について」および福祉体験実習 (講師：社協職員) ・活動紹介「難病支援ボランティア活動内容について」 ・グループワーク「ボランティアとして私たちができることは」
--	---

③ ボランティアセンター機能の充実

ア ボランティアセンター運営委員会の開催

日 時	令和元年 6 月 7 日(金) 14:00～15:30
場 所	リナシティかのや 2 階 ボランティア室
出席者数	ボランティアセンター運営委員 10 人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度ボランティアセンター事業実施報告について ・令和元年度ボランティアセンター事業実施計画について

イ ボランティア活動に関する情報の収集及び提供

- ・ボランティア連絡協議会研修会並びに情報交換会

日 時	令和 2 年 2 月 19 日(水) 14:00～15:30
場 所	リナシティかのや 2 階 情報研修室
出席者数	ボランティア団体：11 団体 17 人 個人：12 人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動事例紹介 要約筆記サークル ひとしずく 代表 平田 英子 氏 Bramberry の森 TEAM Gardenia 代表 新井 照代 氏 ・ボランティア活動保険について

ウ ボランティアの需給調整

- ・ボランティア活動に関する相談・情報提供・斡旋

相談件数	135 件 (対前年度比：6 件の減)
相談内訳	ボランティア活動希望 14 件，ボランティア要請依頼 18 件 福祉教育相談 15 件，その他 (収集等) 88 件

エ ボランティアバンクの整備

- ・ボランティア (個人・団体) の登録状況

個人ボランティア	154 人 (対前年度比：1 人の増)
ボランティア団体	43 団体・16,748 人 (対前年度比：1 団体の増・3 人の減)

オ ボランティアの活動支援

① ボランティア活動保険の加入状況

個人ボランティアの活動保険加入	24 人
ボランティア団体の活動保険加入	40 団体 1,362 人

② ボランティア活動保険掛金の助成

期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 5 月 31 日までの加入者
助成対象者数	1,107 人
助成金合額	110,700 円 (1,107 人×100 円)

カ かのやボランティアフェスティバル等を通じたボランティア活動の啓発
・広報啓発活動

社協ホームページ	ボランティア活動情報欄による情報の提供
社協だより	第44号・第45号・第46号・第47号
社協ボラセン通信	第10号

④ 災害時におけるボランティア活動の推進

ア 県・市総合防災訓練等に参加（鹿屋市総合防災訓練への参加）

日 時	令和元年10月8日(火) 9:00～12:00
場 所	鹿屋市古江漁港周辺
参加者数	32人（内訳）職員15人，一般17人
内 容	仮想災害ボランティアセンターの設置運用訓練

イ 災害ボランティア養成講座

日 時	令和元年9月26日(木) 13:30～16:00
場 所	鹿屋市社会福祉会館1階 大会議室
参加者数	一般11人
内 容	・講義Ⅰ「災害の備えについて」 （講師：市安全安心課 防災専門指導員 横山 太氏） ・講義Ⅱ「皆さんに知っておいてもらいたいこと～災害ボランティア活動のこれまでとこれから～」 （講師：県社協ボランティアセンター 所長 辻 健一氏）

(2) 高齢者元気度アップ・ポイント事業

① 高齢者元気度アップ・ポイント事業の登録

登録者数	2,542人（内 新規登録者837人）	対前年度比：815人の増
------	---------------------	--------------

② ポイント転換交付人数及び転換交付金

ポイント転換交付人数	603人	対前年度比：78人の増
ポイント転換交付金額	1,292,000円	対前年度比：419,000円の増

③ 高齢者元気度アップ・ポイント事業フォローアップ研修会

日 時	令和元年9月4日(水) 14:00～15:30
場 所	リナシティかのや3階 ホール
内 容	講話「音楽を活用した認知症予防」 講師：音楽レクリエーション指導士 福中 浩太郎氏
参加者	高齢者元気度アップ・ポイント事業登録者 187人

④ 高齢者元気度アップ・ポイント事業の広報啓発

高齢者元気度アップ・ポイント事業の広報・啓発を図るため、関係機関・団体の会議等へ参加し、同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

(3) 子育て支援もポイントアップ元気度アップ推進事業

65歳以上の高齢者を含む団体の互助活動に対し、ポイントを付与して活動を活性化し、高齢者を地域全体で支えるよう支援を行った。

① 元気度アップ推進事業の周知及び登録

ア 子育て支援もポイントアップ元気度アップ推進事業制度の広報・啓発を図るため、関係機関・団体の会議等で同制度の概要説明やチラシの配布を行った。

イ 活動団体（グループ）の登録

登録団体数 227団体〔内 新規登録団体38団体〕（対前年度比：25団体の増）

ウ 登録状況（活動種別）

年 度	サロン	見守り	施設訪問	地域	その他	合 計
平成 26 年度	57	7	2	6	0	72
平成 27 年度	23	4	0	6	0	33
平成 28 年度	20	0	2	1	0	23
平成 29 年度	28	3	0	0	0	31
平成 30 年度	24	0	2	4	0	30
令和元年度	34	0	3	1	0	38
合 計	186	14	9	18	0	227

- ② 子育て支援もポイントアップ事業評価ポイントの付与・管理・転換交付金等の交付
ア 上半期ポイント付与グループ数及び転換交付金

ポイント付与グループ数	188グループ	前年度比較増減：17グループの増
ポイント付与転換交付金額	2,897,000円	前年度比較増減：760,000円の増

- イ 下半期ポイント付与グループ数及び転換交付金

ポイント付与グループ数	217グループ	対前年度比：35グループの増
ポイント付与転換交付金額	3,044,000円	対前年度比：613,000円の増

- ③ 子育て支援もポイントアップ元気度アップ推進事業フォローアップ研修会

第 1 回	日 時	平成 31 年 4 月 25 日(木) 13:30～15:00
	場 所	リナシティかのや2階 ギャラリー
	内 容	・講話「高齢者サロン等加入促進事業について」 講師 鹿屋市高齢福祉課 稲元沙織 氏 ・意見交換
	参 加 者	登録団体代表者 134 人

- (4) 元気高齢者等介護職場インターンシップ事業の開催

元気高齢者等を対象に、介護施設での掃除や配膳等といった生活介護の一部や作業のサポートを主体とする職場体験を行い、体験を通じた就業支援を行った。

【事前説明会】

期 間	令和元年9月9日(月)～10月25日(金)のうち1日間(日帰り)
場 所	・市内外の特別養護老人ホーム 2施設 (介護老人保健施設おさしお, 特別養護老人ホームルーピンの里) ・市外のグループホーム 1施設(グループホームひまわり苑)
参加者数	10人
内 容	・介護保険制度について ・施設紹介 ・入所者との接し方 ・職場体験に必要な技術の習得や練習

【職場体験】

期 間	令和元年9月17日(木)～11月9日(月)のうち4日間(日帰り)
場 所	・市内外の特別養護老人ホーム 2施設 (介護老人保健施設おさしお, 特別養護老人ホームルーピンの里) ・市外のグループホーム 1施設(グループホームひまわり苑)
参加者数	10人

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との交流補助（話し相手, レクリエーション, 趣味活動等の補助） ・利用者の介護・介助の補助（車椅子, 食事, 入浴, 散歩等の補助） ・作業の補助（配膳, 洗濯物の整理, 農作業, 清掃等の補助）
-----	---

【就職状況】

参加者数	就職辞退者数（9人）		就職希望者数（1人）	
10人	ボランティア希望	その他	採用	不採用
	7人	2人	0人	1人

5 地域福祉活動計画の評価

「鹿屋市地域福祉活動計画」に掲げた具体的な事業や活動が、計画どおりに実行されるよう外部委員による評価を行った。

(1) 鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会の開催

- ① 日 時 令和2年2月28日(金) 10:00～12:00
- ② 場 所 リナシティかのや2階 情報研修室(B室)
- ③ 出席者数 委員7名
- ④ 内 容
 - ・第2期鹿屋市地域福祉活動計画の概要と評価方法について
 - ・第2期鹿屋市地域福祉活動計画の評価について
 - ・第2期鹿屋市地域福祉活動計画の見直しについて
- ⑤ 評価結果 目標達成に向けて概ね順調に進展している。

6 災害救援活動

(1) 災害支援事業

火災や風水害等による被災者に対して、社協、共同募金、日赤から救援物資や見舞金を支給した。

① 社協 災害見舞金	・全 焼 5件×20,000円=100,000円
② 共募 災害見舞金	<ul style="list-style-type: none"> ・全 焼 5件×15,000円= 75,000円 ・床上浸水 10件×10,000円=100,000円 ・死 亡 1件×18,000円= 18,000円 〈小計 193,000円〉
③ 日赤 災害見舞金 災害救援物資	<ul style="list-style-type: none"> ・全焼（死亡）1件×20,000円=20,000円 ・被災された15世帯に救援物資（毛布, タオルケット, ブルーシート, 緊急セット）を配布した。（全焼 5件 床上浸水 10件）

(2) 被災地への職員派遣

- ・令和元年8月大雨災害へ職員派遣

派遣期間 及び場所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月10日(火)～9月14日(土)：佐賀県小城市 ・令和元年9月22日(日)～9月26日(木)：佐賀県武雄市
派遣人数	2人（各1人）
業務内容	災害ボランティアセンターの運営等

7 障がい者の社会参加と自立支援の促進

障がい者の社会参加を促進する事業を実施し、障がい者の社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動への参加促進を図るため、事業実施に努めた。

(1) 各種奉仕員養成講習会の開催

① 手話奉仕員養成講習会の開催（入門・基礎課程）

期 間	平成 31 年 4 月 16 日(火)～令和 2 年 3 月 24 日(火)13:30～15:30
回 数	45 回 (90 時間)
場 所	リナシティかのや 2 階 情報研修室他
受 講 者 数	10 人
修 了 者 数	2 人 (総登録者数 171 人)

② 点字訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	平成 31 年 4 月 24 日(水)～令和元年 9 月 18 日(水) 13:00～15:00
回 数	20 回 (40 時間)
場 所	リナシティかのや 2 階 ボランティア室
受 講 者 数	5 人
修 了 者 数	3 人 (総登録者数 86 人)

③ 音声訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	平成 31 年 4 月 25 日(木)～令和元年 9 月 12 日(木) 13:30～15:30
回 数	10 回 (20 時間)
場 所	リナシティかのや 2 階 ボランティア室
受 講 者 数	4 人
修 了 者 数	2 人 (総登録者数 77 人)

④ 声の広報等発行事業

文字による情報入手が困難な障がい者のために、点字訳、音声訳の方法により、市の広報等や障がい者の方々が地域生活を送るうえで必要度の高い情報などを定期的に提供した。

ア 広報かのや（通常版）

発行回数及び利用人数（音声訳） 12 回，12 人

イ 広報かのや（お知らせ版）

発行回数及び利用人数（音声訳） 12 回，12 人

ウ 社協だより

・発行回数及び利用人数（点字訳） 4 回， 3 人

・発行回数及び利用人数（音声訳） 4 回，12 人

エ 参議院議員選挙投票結果読み取り（点字訳） 1 回，1 人

(2) コミュニケーション支援事業（手話奉仕員等派遣事業）

聴覚障がい者の方々が、円滑な意思疎通を図れるよう手話奉仕員等の派遣を行った。

① 手話奉仕員の派遣

回数，派遣人数，活動時間	68 回・90 人・280 時間 55 分
主 な 派 遣 用 務	保健福祉フェスタ，講演会，研修会，各種相談会，病院受診，学校及び P T A の会合等

② 要約筆記奉仕員の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	15回・33人・161時間00分
主な派遣用務	保健福祉フェスタ, 講演会, 研修会, 学校及びPTAの会合等

(3) 福祉機器リサイクル事業

不要になった福祉機器について, これを必要とする方に無料で斡旋した。

区分	機器提供件数	機器譲渡希望件数 (うち提供済分)
特殊寝台	5台	5台(5台)
車イス	3台	5台(3台)
合計	8台	10台(8台)

8 子育て支援事業の推進

子育て中の保護者等が地域で安心して子育てができる仕組みづくりや社会資源づくりに努めた。

(1) 鹿屋市ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児又は家事の援助を受けたい人(利用会員)と育児等の援助を行いたい人(サポート会員)を募集・登録し, 相互援助活動の調整業務を行い, 子育て支援に努めた。

① 会員登録者数

・総会員数 684人(対前年度比:1名の増)

区分	会員数(内 新規登録者数)
利用会員	345人(53人)
サポート会員	291人(13人)
両方会員	48人(4人)
合計	684人(70人)

② 会員募集講習会の開催と出席者数

開催日	利用会員	サポート会員	両方会員	合計
令和元年5月23日(木)	1人	2人	1人	4人
令和元年9月19日(木)	0人	4人	2人	6人
令和2年2月16日(火)	0人	7人	1人	8人
随時	49人	0人	0人	49人
出前	3人	0人	0人	3人
合計	53人	13人	4人	70人

③ 全体交流会の開催

日時	令和元年7月17日(水) 9:30~12:00
場所	市社会福祉会館 大会議室
内容	・レクリエーション“楽しく体を動かすレクリエーション” ・体験発表2例(利用会員とサポート会員が1名ずつ発表) ・意見交換会(5グループ編成)
参加者数	会員27人, 子ども5人

④ フォローアップ講習会の開催

日 時	令和元年 11 月 15 日(金) 9:30~12:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	・講話「赤ちゃんと子どものことを考えてみましょう」 講師 鹿屋市保健福祉部健康増進課 主査 岩元 智美 氏 ・実技「乳幼児の身近な事故の対応と心肺蘇生法」 講師 中央消防署
参加者数	23 人

⑤ 活動回数

・総活動回数 1,385 回 (対前年度比: 843 回の増)

内 容	回 数
保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	592 回
保育施設までの送迎	202 回
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	64 回
学校の放課後の子どもの預かり	2 回
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	1 回
買い物等外出時の子どもの預かり	54 回
家事援助	112 回
習い事等の送迎	131 回
そ の 他	227 回
合 計	1,385 回

⑥ その他

ア 援助活動に関する事前打合せ件数 57 件

イ 会報の発行

鹿屋市ファミリー・サポート・センターだより 2 回発行 (会員, 保育園等に配布)

ウ 広報啓発

- ・鹿屋市の広報紙・・・3 回 ・社協だより・・・1 回 ・福祉プラザ通信・・・3 回
- ・社協ホームページ・・・2 回 ・福祉情報配信・・・1 回

※その他の取り組み

・市内の学習センター, 保育施設, 協力店舗, 社協特別会員及び団体会員などにポスターの掲示を依頼した。

・講習会の案内やポスター, 事業周知のためのチラシを鹿屋市の広報紙に 3 回, 福祉プラザ通信に 3 回, 社協ホームページに 2 回, 福祉情報配信に 1 回掲載した。

また, 市内の学習センター, 保育施設, 協力店舗, 社協特別会員及び団体会員などにポスターの掲示を依頼した。

(2) つどいの広場“りな”事業

乳幼児をもつ親とその子どもが気軽につどい, 打ち解けた雰囲気の中で語り合い, 相互の親睦交流と保育士による育児相談を行うことなどを目的に, つどいの広場“りな”を開設して, その利用の推進を図った。

① アドバイザーの配置

保育士の資格を有するアドバイザーを 2 名配置し事業を実施した

② 利用状況

開設日数	349 日
利用者数	6,872 人 [内 講習会等参加者 586 人含む] (対前年度対: Δ1,156 人の減)
1 日平均の利用者数	20 人

- ③ 講習会 開催回数：11回（延参加者数 293人）
- ④ イベント 開催回数：11回（延参加者数 293人）
- ⑤ 相談件数 75件

【主な相談内容】

- ・発育・発達について（歯の生え方，言葉が遅い，寝返りが出来ない，ハイハイが出来ない，歩かない，歩き方）
- ・育児方法（夜泣き，トイレトレーニング，歯磨き，授乳時間，姉弟の育て方，イヤイヤ期の対処）
- ・その他（幼稚園入園，保育園探し，仕事復帰，転入者の乳児医療，転入者の公園探し，子の体調，外出時の食事，出産の不安，ご飯を食べない）

9 広報啓発活動等の実施

(1) 福祉情報配信サービス事業

パソコンや携帯電話のメール機能を利用し，福祉イベントやボランティア情報，休日の当番医，イベント情報等の配信や急を要する不審者等の情報など，暮らしに役立つ福祉情報の配信に努めた。

登録者数	950人（内 新規登録者数 40人）
配信件数	89件

10 低所得世帯等の福祉の推進

低所得世帯，障がい者世帯，高齢者世帯，失業者世帯等の経済的自立や生活の安定を図るため次の事業に取り組んだ。

(1) 県生活福祉資金貸付事業

- ① 借入相談件数 77件〔電話：9件，来所：36件，訪問：32件〕
- ② 貸付件数及び金額（令和2年3月31日現在）
 - ・総貸付件数及び金額 10件 4,952,000円（対前年度比：7件の減・1,687,000円の増）

資金種類	件数	金額
福祉費（就職・技能習得支度経費）	1件	120,000円
福祉費（その他一時的経費）	1件	59,000円
福祉費（冠婚葬祭経費）	1件	273,000円
福祉費（障害者自動車購入経費）	1件	1,500,000円
教育支援資金	4件	2,910,000円
緊急小口資金	2件	90,000円
合計	10件	4,952,000円

※なお，令和2年3月25日から新型コロナウイルス特例貸付の受付が開始され，実績は以下の通りである。

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	3件	600,000円

③ 償還状況（令和2年3月31日現在）

区 分	元 金	利 子	合 計
前期末貸付残額	39,703,078 円	683,205 円	40,386,283 円
当年度貸付額	5,552,000 円	5,427 円	5,557,427 円
当年度償還額	5,050,350 円	44,120 円	5,094,470 円
当年度末未償還額	40,204,728 円	644,512 円	40,849,240 円

(2) 鹿屋市社会福祉協議会生活福祉資金小口貸付事業

① 貸付件数及び金額 1 件 30,000 円（対前年度比：2 件 100,000 円の減）

② 償還状況

区 分	元 金	利 子	合 計
前期末貸付残額	852,950 円	52,215 円	905,165 円
当年度貸付額	30,000 円	0 円	30,000 円
当年度償還額	114,150 円	3,505 円	117,655 円
当年度末未償還額	768,800 円	48,710 円	817,510 円

③ 生活福祉資金小口貸付事業滞納借受世帯状況調査及び償還指導の実施

ア 各市町村へ住民票請求（住所地確定のため）

- ・借受人：12 人
- ・連帯借受人：2 人
- ・連帯保証人：6 人

イ 催告書等の送付（居住確認の為、一般書留・配達証明にて送付）

- ・郵送日：令和2年3月2日
- ・対象件数：4 件（市外在住借受人）

ウ 電話、訪問による償還指導：9 人 28 回

(3) 生活困窮者食料支援事業の実施

生活に困窮し、食料に困っている世帯に対し、食料支援を行った。

① 生活困窮世帯への当会備蓄食料品の提供

- ・支援件数：46 件（対前年度比：19 件の増）

② 「生活困窮者への食料支援に関する協定」締結先との連携

生活困窮者や民間の子ども食堂に対し、民間事業所と連携した食料支援を行い、困窮者の自立を支援した。

- ・総支援回数 13 件（対前年度比：5 件の増）

連携先	件数	人・食数	支援先	支援内容
社会福祉法人 岳風会	12 件	600 食	子ども食堂	就労継続支援施設で作るパン
株式会社 倉府食品	1 件	4 人	生活困窮者世帯	自社で取り扱う冷凍食品

(4) かごしまおもいやりネットワーク事業

社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」として、福祉課題や生活課題を抱える地域住民等を対象に相談支援や経済的支援を実施した。

- ・支援件数：31 件 19 世帯（対前年度比：23 件 13 世帯の増）
- ・支援金額：392,590 円（対前年度比：314,778 円の増）
- ・支援内容：食料費、燃料費、公共料金、家賃等

1.1 各種イベントの開催

- (1) 鹿屋市ふれあい健康福祉まつりの開催(詳細は、「4 福祉教育やボランティア活動の推進 (1)の①」参照)
- (2) 各支所(吾平・串良・輝北)地域ふれあいフェスタの開催

① 吾平福祉ふれあいフェスタ

日 時	令和元年 12 月 10 日(火) 14:00~16:00
場 所	吾平交流センター湯遊ランドあいら
参加者数	一般 110 人
内 容	・講演「つぼと健康」講師：鹿児島鍼灸専門学校付属鍼灸治療院 院長 泊 平八郎 氏 ・演芸「大正琴, 体操, 踊り等」

② 串良福祉ふれあいフェスタ

日 時	令和 2 年 2 月 21 日(金) 13:30~16:00
場 所	串良ふれあいセンター
参加者数	一般 76 人
内 容	・第 1 部 講演「つぼと健康」講師：鹿児島鍼灸専門学校付属鍼灸治療院 院長 泊 平八郎 氏 ・第 2 部 演芸大会「マジック, 舞踊等」

③ 輝北福祉ふれあいフェスタ

輝北福祉ふれあいフェスタは、令和 2 年 3 月 14 日(土)に輝北ふれあいセンターで開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となった。

1.2 共同募金配分金事業

鹿児島県共同募金会から一般募金及び歳末たすけあい募金の配分があり、様々な福祉活動を行う団体等に配分した。

- (1) 一般募金配分金【配分合計額】7,022,533 円(対前年度比:200,447 円の増)

配 分 内 容	配 分 金
・町内会福祉推進助成金	1,653,000 円
・福祉活動団体助成金	1,650,000 円
・ふれあい・いきいきサロン等助成金	100,000 円
・高齢者祝品等事業	274,080 円
・公募助成事業(町内会, ボランティア団体等)	1,825,625 円
・児童生徒への学習支援事業	498,600 円
・各種イベント(チャリティ GG・ゴルフ・福祉フェスタ等)	213,423 円
・ドライブサロン事業	64,272 円
・広報啓発事業(社協だより等)	311,600 円
・民生委員活動啓発事業	202,400 円
・事業事務経費	229,533 円

- (2) 歳末たすけあい募金配分金【配分合計額】3,428,853 円(対前年度比:902,487 円の増)

配 分 内 容	配 分 金
・90 歳以上の高齢者世帯(歳末見舞品事業)	808,350 円
・地域歳末たすけあい助成事業(公募事業)	1,037,000 円
・児童福祉施設等への助成金	150,000 円
・生活困窮者支援	218,000 円

・ふれあい・いきいきサロン事業	28,000 円
・広報啓発事業（社協だより）	906,000 円
・事業事務経費	281,503 円

(3) 各種イベントの開催

① 第13回赤い羽根共同募金チャリティグラウンドゴルフ大会の開催

日 時	令和元年10月22日(祝・火) 8:40～
場 所	かのやグラウンドゴルフ場
参加者数	405人(88チーム)
募金額	87,897円

② 第9回赤い羽根共同募金チャリティゴルフ大会の開催

日 時	令和元年11月16日(土) 8:00～
場 所	J s カントリークラブ鹿屋コース
参加者数	99人(28チーム)
募金額	91,962円

1.3 福祉団体等の育成援助

各種福祉団体・福祉関連団体の育成援助に努めた。

1.4 共同募金運動への協力

鹿屋市共同募金委員会が実施する共同募金運動に協力した。

(1) 広報啓発活動

- ① 赤い羽根（ステッカー）、ポスター、パンフレット、チラシ等募金資材を使った広報
- ② 社協だよりに掲載

【第46号（令和元年10月28日発行）】【第47号（令和元年1月10日発行）】

- ③ 懸垂幕の設置（市役所庁舎に設置）
- ④ 横断幕の設置（リナシティかのや3階北田交差点側に設置）
- ⑤ 赤い羽根共同募金寄付型自動販売機（清涼飲料水）の設置 2台

【社協本所（福祉プラザ内）及び社協本所分室（市社会福祉会館内）】実績 83,799円

(2) 募金活動

① 一般募金

ア 運動期間（10月1日から12月31日まで）

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和元年10月1日(火)
- ・場 所 市内16ヶ所のスーパー、量販店など
- ・募金ボランティア数 377人
- ・募金実績 301,297円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 10,312,060円

(内訳)

募金種別	募金額
・戸別募金	7,042,793円
・街頭募金	301,297円
・法人募金	1,364,300円

・学校募金	257,191 円
・職域募金	96,889 円
・イベント募金	322,267 円
・個人募金	448,933 円
・その他の募金	478,390 円
合 計	10,312,060 円

② 歳末たすけあい募金

ア 運動期間 (12月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和元年12月1日(火)
- ・場 所 市内16ヶ所のスーパー、量販店など
- ・募金ボランティア数 331人
- ・募金実績 357,658円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 3,428,853円

(内訳)

募金種別	募金額
・戸別募金	2,545,010 円
・街頭募金	357,658 円
・法人募金	3,000 円
・職域募金	184,109 円
・個人募金	120,000 円
・その他の募金	219,076 円
合 計	3,428,853 円

③ 各種別募金の内容

- ・戸別募金 【町内会の各世帯に募金協力依頼】
- ・職域募金 【市内の官公署等の職員に募金協力依頼】
- ・街頭募金 【市内の16店舗に協力依頼し、店舗の利用客等に募金協力依頼】
- ・法人募金 【市内の企業・病院等に募金協力依頼】
- ・学校募金 【市内の小中高等学校等に通学する児童・生徒等に募金協力依頼】
- ・個人募金 【一般の個人に募金協力依頼】
- ・イベント募金 【各種イベントでの募金活動】
- ・その他の募金 【企業や団体が催しなどで得た益金や公共施設等に設置した募金箱、共同募金自動販売機の益金等】

1.5 日本赤十字社会員増強運動への協力

日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区が実施する会員増強運動に協力した。

(1) 広報活動

- ① 5月は日本赤十字社会員増強運動月間として広報啓発に努めた。
- ・広報かのか(5月通常版)を活用しての広報
 - ・ポスター、パンフレット、チラシ等募金資材を使った広報
 - ・懸垂幕の設置(市役所庁舎に設置)

- ・横断幕の設置（リナシティかのや3階北田交差点側に設置）
- ・5月3日開催のリナフェスタで日本赤十字社の活動を紹介

② 協賛委員研修会の開催

- ・日 時 令和元年6月20日(木) 14:00~15:30
- ・場 所 リナシティかのや2階 情報研修室
- ・参加者 協賛委員 25人
- ・内 容 日本赤十字社の活動, 協賛委員活動

(2) 会員募集

- ① 募集期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日
(5月は会員増強運動月間と定めている。)

- ② 納入実績額 9,269,373円

(内訳)

区 分	会費額
個人・法人等	8,810,373円
ダイレクトメール	459,000円
合 計	9,269,373円

【在宅福祉サービス課所管】

1 介護保険事業の取り組み及び実施

(1) 居宅介護支援事業（本所分室・輝北支所）

高齢者等が居宅において、適切な保健医療及び福祉サービスを多様な事業所から総合的かつ効率的に提供され、自立した質の高い日常生活が送れるように、介護相談及び介護計画の作成等の支援を行った。

- ① 介護支援専門員数 8人（嘱託 8人）
- ② ケアプラン作成依頼実人数 280人（内：介護予防プラン作成依頼実人数 35人）
- ③ 年間ケアプラン作成件数 2,444件（内：介護予防ケアプラン作成件数 280件）
- ④ ケアプラン介護度別取扱い件数

区 分		年間実績	月平均	割合
要支援 1		82 件	6.8 件	3.4%
要支援 2		198 件	16.5 件	8.1%
小 計		280 件	23.3 件	11.5%
要介護 1		462 件	38.5 件	18.8%
要介護 2		671 件	55.9 件	27.5%
要介護 3		383 件	31.9 件	15.7%
要介護 4		421 件	35.1 件	17.2%
要介護 5		227 件	18.9 件	9.3%
小 計		2,164 件	180.3 件	88.5%
合 計		2,444 件	203.6 件	100.0%
予 防 給 付	新 規	18 件	1.5 件	
	継 続	262 件	21.8 件	
	計	280 件	23.3 件	
住宅改修作成		15 件	1.3 件	

(2) 訪問介護事業（本所分室）

訪問介護員が利用者の居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事等の介護，調理，洗濯及び掃除等の家事，日常生活に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助及び支援を適切に行った。

- ① 訪問介護員従事者数 25人（嘱託 4人，登録 21人）
- ② 訪問介護実利用者実人数 118人
- ③ 年間訪問介護回数 9,997回
- ④ サービス内容

区 分		年間実績	月平均
サービス内容	身体介護中心業務	984 回	82.0 回
	身体介護・生活援助業務	2,335 回	194.6 回
	生活援助中心業務	6,678 回	556.5 回
	合 計	9,997 回	833.1 回

⑤ 介護度別利用者数及び訪問回数

区 分	年間実績		月平均		割 合	
	利用者数	回 数	利用者数	回 数	利用者数	回 数
要支援 1	155 人	764 回	12.9 人	63.6 回	13.7%	7.7%
要支援 2	350 人	2,117 回	29.1 人	176.4 回	31.0%	21.1%
小 計	505 人	2,881 回	42.0 人	240.0 回	44.7%	28.8%
要介護 1	173 人	1,566 回	14.4 人	130.5 回	15.3%	15.7%
要介護 2	327 人	3,982 回	27.2 人	331.8 回	29.0%	39.8%
要介護 3	60 人	528 回	5.0 人	44.0 回	5.3%	5.3%
要介護 4	52 人	918 回	4.3 人	76.5 回	4.6%	9.2%
要介護 5	12 人	122 回	1.0 人	10.1 回	1.1%	1.2%
小 計	624 人	7,116 回	52.0 人	593.0 回	55.3%	71.2%
合 計	1,129 人	9,997 回	94.0 人	833.0 回	100.0%	100.0%

(3) 訪問入浴介護事業（本所分室）

訪問入浴車でその居宅を訪問して浴槽を提供し、看護職員及び介護職員が要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の援助を行うことによって、利用者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等が図られるよう援助を行った。

- ① 訪問入浴介護従事者数 18 人
- | |
|----------------------------|
| 看護職員（嘱託 2 人，登録 8 人） |
| 介護職員（嘱託 3 人，登録 4 人，派遣 1 人） |
- ② 訪問入浴介護利用者実人数 57 人
- ③ 年間訪問入浴介護回数 1,691 回
- ④ 介護度別利用者数及び訪問回数

区 分	年間実績		月平均		割 合	
	利用者数	回 数	利用者数	回 数	利用者数	回 数
要介護 1	1 人	2 回	0.1 人	0.2 回	0.3%	0.1%
要介護 2	18 人	110 回	1.5 人	9.2 回	5.3%	6.5%
要介護 3	32 人	178 回	2.7 人	14.8 回	9.5%	10.5%
要介護 4	103 人	433 回	8.6 人	36.0 回	30.6%	25.6%
要介護 5	183 人	968 回	15.2 人	80.7 回	54.3%	57.3%
合 計	337 人	1,691 回	28.1 人	140.9 回	100.0%	100.0%

⑤ 訪問入浴車の更新

車両の老朽化に伴い、鹿屋市訪問入浴車更新助成事業（「ふるさと納税」の寄付金を財源に鹿屋市から助成）により、訪問入浴車 2 台を更新した。（令和元年 10 月から稼働）

車 種	トヨタレジアスエース (B B 466 T 訪問入浴車)	マツダボンゴ (B B 353 M 訪問入浴車)
購入金額	5,516,694 円 (3,677,000 円)	4,972,444 円 (3,315,000 円)
合 計	10,489,138 円 (6,992,000 円)	

※ () は鹿屋市助成金額（補助率 2/3）

2 障害者福祉サービス事業の取り組み及び実施

訪問介護員が利用者の居宅において日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言並びに外出時における同行援護及び移動支援、その他の生活全般にわたる支援を適切に行った。

(1) 障害者居宅介護事業

- ① 訪問介護従事者数 25人 (嘱託 4人, 登録 21人)
- ② 訪問介護利用者実人数 38人 (身体 23人, 精神 9人, 知的 6人)
- ③ 年間訪問介護回数 3,961回
- ④ 利用者数及び訪問回数

区 分		年間実績	月平均
サービス内容	身体介護業務	648回	54.0回
	家事援助業務	3,282回	273.5回
	通院介護業務	31回	2.6回
	合 計	3,961回	330.1回

(2) 同行援護事業

- ① 同行援護従事者数 10人 (嘱託 3人, 登録 7人)
- ② 同行援護利用者実人数 10人
- ③ 年間同行援護回数 699回
- ④ 年間利用者及び同行援護回数

年間実績		月平均	
利用者数	回 数	利用者数	回 数
106人	699回	8.8人	58.3回

(3) 障害者移動支援事業 (ガイドヘルプ)

- ① 移動支援従事者数 13人 (嘱託 3人, 登録 10人)
- ② 移動支援利用者実人数 5人 (身体介護「有」3人, 「無」2人)
- ③ 年間移動支援回数 52回
- ④ 年間利用者数及び移動支援回数

区 分	合 計		平 均	
	利用者数	回 数	利用者数	回 数
身体介護を伴う場合	25人	32回	2.1人	2.6回
身体介護を伴わない場合	11人	20回	0.9人	1.7回
合 計	36人	52回	3.0人	4.3回

(4) 身体障害者訪問入浴サービス事業

- ① 訪問入浴介護従事者数 18人 [看護職員 (嘱託 2人, 登録 8人)
介護職員 (嘱託 3人, 登録 4人, 派遣 1人)]
- ② 訪問入浴介護利用者実人数 9人
- ③ 年間訪問入浴介護回数 711回
- ④ 年間利用者及び訪問回数

年間実績		月平均	
利用者数	回 数	利用者数	回 数
91人	711回	7.6人	59.3回

3 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進

高齢者や障がい者等の意思能力や生活状況に応じ、成年後見制度や福祉サービス利用支援事業を活用して、権利擁護支援の推進を図った。

(1) 法人後見事業の実施

家庭裁判所からの選任により、判断能力が不十分な認知症高齢者や精神障がい者等の法律面や生活面を支援する成年後見事業を行った。

① 年間実績

・受任件数	16件〔後見15件・補佐1件〕(対前年度比：1件の増)
・新規受任件数	4件〔後見3件・補佐1件〕
・後見終了件数	2件
・延受任件数	22件
・相談件数	30件〔制度説明, 後見事務等〕
・年間取扱件数	721件〔入退院手続き, 死後事務等〕

② 市民後見人養成講座の開催

地域で安心した生活を続けたいという地域福祉推進の観点から、市民を対象に、養成講座を開催した。

※市民後見人とは、一般市民による成年後見人です。認知症や知的障害などで判断能力が不十分になった人に、親族や弁護士・司法書士等がない場合に、同じ地域に住む市民が、家庭裁判所から選任され、本人に代わって財産の管理や介護契約などの法律行為を行います。

ア 市民後見人養成講座事前説明会

- ・日時 令和元年7月26日(金)
(1回目) 11:00~12:00, (2回目) 18:30~19:30
- ・場所 市社会福祉会館大会議室
- ・参加者 (1回目) 10人 (2回目) 2人

イ 市民後見人養成講座

- ・日程 9月7日~11月2日までの10日間。(座学9日間, 現場実習1日間)
- ・時間 総時間45時間30分【座学38時間30分, 実習7時間00分】
- ・場所 市社会福祉会館大会議室ほか
- ・受講者 11人
- ・修了者 11人

日程	講義内容	時間	講師
9月7日(土)	開講式	9:30~10:00	社会福祉協議会職員
	基調講演	10:00~12:00	天羽浩一氏(元大学教授)
	社会福祉の動向と市民後見人の背景	13:00~14:30	田中弘子氏(社会福祉士)
	鹿屋市の福祉の現状と課題	14:00~15:00	鹿屋市高齢福祉課長
9月14日(土)	認知症の特性及び対象者理解	10:00~12:00	市地域包括支援センター
	知的障害・発達障害の特性, 対象者理解	13:00~14:30	障がい者基幹相談支援センター
	精神障害者の特性・対象者理解	14:40~15:40	新西真理恵氏(精神保健福祉士)

9月21日(土)	介護保険制度の概要等	10:00~11:00	鹿屋市高齢福祉課職員
	在宅医療連携の仕組みと現状	11:00~12:00	
	高齢者施策・虐待防止法概要	13:00~14:00	
	高齢者虐待事例と対処方法	14:10~15:40	市地域包括支援センター
9月28日(土)	生活保護法の概要	10:00~11:00	鹿屋市福祉政策課職員
	税の仕組み・申告制度の概要	11:00~12:00	鹿屋市税務課職員
	年金の仕組み・公的年金の概要	13:00~14:10	鹿屋市健康保険課長 鹿屋市市民課職員
	障害者施策, 虐待防止法	14:10~15:40	障がい者基幹相談支援センター
10月5日(土)	成年後見制度概論	10:00~12:00	法テラス鹿屋(野間修平氏)
	民法の基礎知識	13:00~14:00	藤尾直人氏(弁護士)
	刑法・消費者保護の概要	14:10~15:10	
	家庭裁判所の見学オリエンテーション	15:10~15:30	社会福祉協議会職員
10月8日(火)	家庭裁判所の見学	13:30~14:20	安藤葉子氏(家裁鹿屋支部)
	家庭裁判所の実際	14:30~16:00	
10月12日(土)	消費者被害と現状	10:00~11:00	市消費生活センター
	福祉サービス利用支援事業・権利擁護推進センターの概要	11:00~12:00	社会福祉協議会職員
	地域福祉概論	13:00~14:30	福田正道氏(県社協)
	実習事前オリエンテーション	14:40~15:30	細山田健一氏(以和貴苑)
10月15日(火) 10月16日(水)	現場体験(1日間)	9:00~16:00	高齢者福祉施設以和貴苑
10月28日(土)	後見事務の実際・財産目録や報告書の作成	9:30~12:00	杉木悠太氏・松元修二氏 (リーガルサポート)
	後見終了の手続き・死後事務	13:00~15:00	宇都明子氏(リーガルサポート)
11月2日(土)	対人援助の基礎と演習	10:00~12:00	田中弘子氏(社会福祉士) 田中正信氏(社会福祉士)
	課題演習(グループワーク)	13:00~16:00	田代啓太氏(リーガルサポート)
	閉講式	16:00~16:20	社会福祉協議会

③ 鹿屋市高齢者虐待防止ネットワーク推進協議会への参加

- ・日 時 令和元年7月12日(木) 15:00~16:30
- ・場 所 鹿屋市役所7階 大会議室
- ・参加者 1人

④ 家事関係機関との連絡協議会への参加

- ・日 時 令和元年12月19日(木) 13:30~16:00
- ・場 所 鹿児島家庭裁判所大会議室
- ・参加者 1人

(2) 福祉サービス利用支援事業の実施

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して、自分ひとりでは判断が困難な方に対して、「福祉サービスの利用援助」「日常的な金銭管理サービス」「書類等の預かりサービス」を提供し、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援を行った。

① 年間実績

・相談援助件数	1,724件
・契約締結件数	14件
・解約・終了件数	21件
・現在の実利用件数	92件〔令和2年3月31日現在〕（対前年度比：7件の減）
・年間取扱い件数	113件

② 令和1年度福祉サービス利用支援事業実施社協の現地訪問調査

- ・日時 令和1年11月27日(水) 13:30～15:00
- ・場所 市社会福祉会館内権利擁護推進センター内
- ・調査実施者 鹿児島県社会福祉協議会長寿社会推進部福祉サービス運営適正化委員会事務局 2人
- ・出席者 4人

③ 福祉サービス利用支援事業利用支援員研修会

- ・日時 令和1年12月3日(火) 10:30～15:30
- ・場所 リナシティかのや情報研修室
- ・参加者 1人

④ 福祉サービス利用支援事業第2回専門員会議及び専門員セミナー

- ・日時 令和2年3月3日(火) 10:30～15:30
- ・場所 鹿児島県社会福祉会館
- ・参加者 3人

4【充実】肝属地区障がい者基幹相談支援センター事業の実施

本年度から事業の全面受託に伴い、鹿屋市や社会福祉法人からの出向により相談員等を配置して、障害者、障害児及びその保護者又は障害者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援を行った。

(1) 業務従事者数（出向先）

- ① センター長 1人（鹿屋市）
- ② 相談員 5人（社会福祉法人 愛光会・岳風会・恵仁会・天上会・松風会）

(2) 業務内容

- ① 障がい者相談支援事業（障害者等・家族等を主な対象）
- ② 相談支援事業（事業者を主な対象）
- ③ 地域生活支援拠点等の整備に向けた各機能の仕組み作り
- ④ 肝属地区障がい者基幹相談支援センター運営協議会の運営
- ⑤ 肝属地区障害者自立支援協議会の運営の補助

(3) 実施区域

肝属地区2市4町（鹿屋市・垂水市・肝付町・東串良町・錦江町・南大隅町）

また、巡回相談を各市町で毎月3回程度実施

(4) 開設日及び開設時間

開設日	開設時間	休 日
月～金	8:30～17:00	日曜日, 祝日
土	8:30～17:00 (原則 電話相談のみ)	年末年始(12/29～1/3)

(5) 令和元年度相談実績

区 分	分 類	件数	対前年度比	月平均	内訳(%)
相談実人数 【障害別】	身体障害	71	12	5.9	14.6
	重症心身障害	5	△3	0.4	1.0
	知的障害	88	11	7.4	18.1
	精神障害	162	34	13.5	33.3
	発達障害	29	22	2.4	6.0
	高次脳機能障害	0	0	0	0
	その他	131	△148	10.9	27.0
	合 計	486	△72	40.5	100
相談延件数 【方法別】	訪 問	833	141	69.4	20.1
	来 所	172	△32	14.4	4.2
	同 行	130	57	10.8	3.1
	電 話	1,259	△464	104.9	30.4
	メール	207	40	17.3	5.0
	個別支援会議	83	△9	6.9	2.0
	関係機関	1,416	△482	118.0	34.2
	その他	42	△26	3.5	1.0
	合 計	4,142	△775	345.2	100
相談延件数 【内容別】	福祉サービス利用	1,297	△113	108.1	24.2
	障害者症状の理解	53	21	4.4	1.0
	健康・医療	596	△209	49.7	11.1
	不安の解消・情緒安定	426	△518	35.5	8.0
	保育・教育	225	△261	18.7	4.2
	家族関係・人間関係	301	158	25.1	5.6
	家計・経済	453	123	37.7	8.5
	生活技術	1,094	77	91.2	20.5
	就労	88	29	7.3	1.6
	社会参加・余暇支援	28	△279	2.3	0.5
	権利擁護	42	△48	3.5	0.8
	その他	751	20	62.6	14.0
	合 計	5,354	△1,000	446.1	100

5 鹿屋市社会福社会館の適正な管理・運営

社会福社会館については、民間福祉団体等の活動の拠点として適切かつ効率的な管理・運営に努めた。

(1) 利用者数 3,828 人 (対前年度比：305 人の減)

(2) 利用者数内訳

区 分	年間利用者数	区 分	年間利用者数
社 協 関 係	2,328 人	福祉協力団体	807 人
福 祉 団 体	105 人	その他(一般)	531 人
行 政 関 係	57 人	合 計	3,828 人